

令和4年度 北海道七飯養護学校 学校評価教職員アンケート

回収率 99%

○評価4(よくあてはまる) 3(あてはまる) 1(あまりあてはまらない) 1(あてはまらない) 無(わからない)

全教職員

	評価項目	平均値	評価4	評価3	評価2	評価1	無	
学校経営について	1 学校教育目標に基づき経営方針、経営の重点等の共通理解が図られ、各学部、寄宿舎、分掌、事務部等の計画に反映されている。	3.3	25	61	0	0	0	
			29%	70%	0%	0%	0%	
	2 学校課題解決のための重点の共通理解が図られ、重点に沿った教育活動や各部の業務推進がなされている。	3.3	25	61	0	0	0	
			29%	70%	0%	0%	0%	
	3 指導担当者間での話し合いは、次回の授業や指導に生かせる建設的な協議になっている。	3.6	48	39	0	1	0	
			55%	45%	0%	1%	0%	
	4 自立に向けた指導のための教材の準備を十分にできる環境が確保され、担当する授業時数もそれに適した適切な配分となるよう改善している。	3.0	15	56	14	1	0	
			17%	64%	16%	1%	0%	
	5 各学部や分掌、棟、事務部の情報共有や連携が図られ、組織的、効率的に業務が行われている。	3.1	20	59	6	0	0	
23%			68%	7%	0%	0%		
6 終了時刻を明確にするなど時間の無駄がない会議や打ち合わせ、分掌等の業務の効率化や標準化の取組が進められている。(経営⑦)	3.0	24	47	10	2	1		
		28%	54%	12%	2%	1%		
7 学校予算は、教育活動の必要性、緊急性、優先度に基づいて計画的に執行されている。	3.0	19	58	6	1	2		
		22%	67%	7%	1%	2%		
8 職員会議をはじめ、各会議は適切に運営され、教職員の共通理解が図られている。	3.2	26	55	4	0	0		
		30%	63%	5%	0%	0%		
9 学校の教育活動について地域へ分かりやすく発信し、地域の教育資源や人材を活用するための理解啓発を行っている。(経営①)	2.9	14	58	9	0	2		
		16%	67%	10%	0%	2%		
教育課程について	10 小・中学部、高等部のつながりに配慮した教育課程の編成ができています。(教諭のみ回答)(教育①)	2.9	10	67	4	1	2	
			12%	77%	5%	1%	2%	
	11 授業時数、日課、時間割は児童生徒の実態にあわせ、何をどのように学ぶのかなど内容が明確になっている。(教諭のみ回答)	3.1	23	58	4	0	0	
			26%	67%	5%	0%	0%	
	12 教育課程の評価が適切に行われ、学ぶ内容の見直しや授業改善につながっている。(教諭のみ回答)(教育①)	3.1	20	60	3	0	1	
			23%	69%	3%	0%	1%	
	13 学校(寄宿舎)行事や学校(寄宿舎)の地域資源を活用した活動は社会の変化に対応しながら生きる力を身に付ける改善や工夫がなされている。(教諭・寄宿舎指導員のみ回答)	3.0	19	57	6	0	1	
			22%	66%	7%	0%	1%	
	14 ICT機器を活用した効果的な学習指導の工夫改善に取り組んでいる(教諭のみ回答)(教育①)	3.3	38	41	5	1	0	
44%			47%	6%	1%	0%		
教育活動・指導について	15 保護者と連携して「個別的教育支援計画」等を学校や寄宿舎で作成し、児童生徒の課題や目標、手立てを分かりやすく作成している。(教育②)	3.4	42	42	1	0	0	
			48%	48%	1%	0%	0%	
	16 個別の指導計画や寄宿舎個別の指導計画の目標、手立て、評価は日々の授業や指導で活用し、適宜手立ての改善を図るようにしている。	3.4	41	44	1	0	0	
			47%	51%	1%	0%	0%	
	17 本人・保護者の願いやニーズを踏まえるとともに、根拠を明確にした指導を行っている。	3.4	41	44	1	0	0	
			47%	51%	1%	0%	0%	
	18 児童生徒の障がい特性を理解し発達段階に応じた授業や指導や環境の整備を進めている。	3.3	34	50	2	0	0	
			39%	58%	2%	0%	0%	
	19 過支援とならないよう児童生徒の主体的な活動を育むための最少人数での指導を進めるとともに、児童生徒の活動時間を十分に保障した授業を実施している。	3.2	31	50	3	2	0	
36%			58%	3%	2%	0%		
20 進路(次の学部や上位学校を含む)先、福祉制度・サービスなどの情報について、担当分掌から情報を得るとともに、保護者への分かりやすい説明をすることができている。	3.2	27	52	6	0	0		
		31%	60%	7%	0%	0%		
21 児童生徒情報や方針について、学校(寄宿舎)と保護者・施設間で共有し連携が図られている。	3.3	35	50	0	0	0		
		40%	58%	0%	0%	0%		
22 児童生徒の手本となるように言動、身なり、マナー等に配慮するとともに、服務規律を意識して行動している。(経営⑧)	3.5	46	38	1	1	0		
		53%	44%	1%	1%	0%		
※主語は「自分」	23 知的障がいや自閉症などの障害特性を理解した上で、自発性を促す成功体験や言語活動の充実を意識しながら指導している。(教育③④)	3.3	35	49	1	1	0	
			40%	56%	1%	1%	0%	
			24 知的障がいの教科指導や自立活動について理解した指導を進めるとともに、ICT機器を効果的に活用することを始め、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組んでいる。(教諭のみ回答)(教育①②)	3.2	24	58	3	1
28%	67%	3%	1%		0%			
25 校内研修に積極的に参加するとともに、授業改善(舎・指導の改善)に積極的に取り組み、専門性の向上を進めている。(経営⑥)	3.3	28	56	2	0	0		
		32%	64%	2%	0%	0%		
危機管理	26 児童生徒の個人情報保護を徹底するとともに、児童生徒や保護者との連携について、個人的な関わりにならず、学年、学部、校内等での情報共有と組織的対応ができている。	3.5	44	42	0	0	0	
			51%	48%	0%	0%	0%	
	27 災害時の児童生徒の安全管理や日常的な児童生徒のけが等について適切に対応し、管理職への迅速な報告や保護者への丁寧な説明ができる。	3.4	41	43	2	0	0	
47%			49%	2%	0%	0%		
28 給食や調理学習の際、アレルギーや異物混入に対する危機管理に万全を期すとともに、感染症予防に係る対応に適切に取り組んでいる。	3.5	50	35	1	0	0		
		58%	40%	1%	0%	0%		
その他	29 教材費や行事費について費用対効果を意識するなど適切に使うことができている。(寄宿舎指導員は小遣いや日常生活費とする)(経営⑨)	3.3	38	46	0	1	0	
			44%	53%	0%	1%	0%	
	30 PTA活動(行事等の運営を含む)に参加している。	2.5	5	53	9	4	14	
6%			61%	10%	5%	16%		